

◎ 2020年12月21日 邦船3社の経営戦略、課題と関係関連企業が採るべき対応策について【会場受講先着15名様限定】【JPIセミナー 1月25日(月)開催】 (<http://good-luck-news.com/?p=233295>)

# Good Luck News

今日も一日Good Luck!

(<http://good-luck-news.com/>)

## 手すりや段差解消……介護保険対象の5種に絞った 第2回デザインアワード 最優秀賞は「ブラインドア(炭型)」 介護を変えるデザインの可能性 計6名が各賞受賞 オンライン授賞式 12月3日に開催



@Press (<http://good-luck-news.com/?author=2>)

◎ 2020年12月1日 (<http://good-luck-news.com/?m=20201201>)

介護向け住宅リフォーム事業を行う株式会社ユニバーサルスペース(本社：神奈川県横浜市、代表取締役：遠藤 哉)は、第2回デザインアワード『安心・安全な住み良い家づくりにつながるユニバーサルデザイン』を開催し、選考の結果、最優秀賞をはじめ、各賞の受賞者を11月27日に決定しました。授賞式を2020年12月3日にオンラインでおこないます。

本アワードでは、「高齢化社会の暮らしを豊かにする」をキーワードにデザインアイデアを募集します。これは才能ある学生やデザイナーと出会い、応援、コラボレーションを目的としたコンペティションです。

### ■介護リフォームで暮らしを豊かに 発想豊かなアイデア求め開催

当社では手すりの取付、段差解消、ドアを引き戸に交換するなどの介護リフォーム事業を展開しており、特にニーズの高い手すりは自社製品開発も手掛けています。しかし「介護知識や施工の技術力はあるが、意匠力はない・・・」という課題があったため、昨年、高齢化社会の暮らしを豊かにするデザインアイデアを発想豊かな学生やデザイナーたちに向けて募集するデザインアワードを初開催。

2回目となる本アワードでは介護保険の対象となる「手すりの取付」「段差解消」「床材変更」「扉の交換」「洋式便器への交換」の5種類にテーマを絞り、高齢者、家族、介護者らがほっと笑顔になれるデザインアイデアを募集。

全国の14歳～54歳の幅広い年齢層から15名のエントリーがあり、様々なデザインアイデアが提案されました。

### ■最優秀賞 在宅介護で困難なポイント トイレまわりに着目した作品



最優秀賞に選ばれたのは和歌山県在住の20歳の大学生、山本創大さんの「ブラインドア(炭型)」です。在宅介護で困難なポイントである「トイレまわり」に着目した作品。ブラインド型の扉は自動で昇降し、炭が編み込まれたブラインド素材を使用し脱臭効果も。ブラインドをおろしておくことで視線を完全に遮ることができます。また、耐久性もあるのでドアとしての機能を果たすことができます。

審査員からは、「全体的な完成度が高い」「交換可能なモノに対してシンプルに設置できること、扉の可能性として開き戸か引き戸ではなく、第3の視点として上下に着目した点が良い」など評価されました。

その他の受賞作品も、デザイン性と実用性の両方が兼ね備えられ、簡単なアイデア止まりではなく、しっかり考えられた作品が多い傾向でした。

受賞した作品は商品化も検討しており、今後も介護リフォームの理解促進につながる取り組みを積極的におこなっていきます。

『デザインアワード』の授賞式を12月3日 13時よりオンラインにて開催します。

ご取材は、広報事務局(担当：杉村)までお申込みをお願いいたします。

TEL : 03-5411-0066

携帯 : 070-1389-0175

E-mail : [pr@netamoto.co.jp](mailto:pr@netamoto.co.jp) (mailto:pr@netamoto.co.jp)

#### 【デザインアワード 授賞式の概要】

日時 : 2020年12月3日(木)

場所 : オンライン

参加者 : 受賞者6名、審査員4名

タイムスケジュール : 13:00 開会

13:05 主催者挨拶

13:15 表彰・審査員総評・受賞者のコメント

14:00 終了予定

※スケジュールおよび参加人数は目安です。状況によっては変更の可能性があります。

#### 【受賞アイデアについて】

<最優秀賞>

山本創大さん(20歳)

「ブラインドア(炭型)」



トイレ用、炭ブラインド型自動ドア

## ブラインドア (炭型)

テーマ:「扉の交換」

**提案背景**

在宅介護で最も困難なポイントとなるのは「トイレまわり」であると考えられる。介護施設などのトイレでは、排泄介助や、高齢者にとっての障壁となってしまうので「扉」はつけない場合が多い。その代わりにつけているシャワーカーテンはすぐに破れるなどの課題がある。在宅介護の場合、扉をはずしてしまうことは難しく、自動ドアをつけるスペースはない場合がある。また、臭いなどの問題も発生する。本提案はこれらの課題を考慮したものである。

**提案内容**

「ブラインドア」は、自動で昇降するブラインド型のトイレ扉である。

誰でも手を伸ばしやすい位置にある「ボタン」を押すことで、自動でブラインドアが開閉する。これによって扉による排泄の障壁を除くことができる。

炭が溜み込まれたブラインド素材によって脱臭効果が期待でき、臭い問題を解決することができる。

また、シャワーカーテンや扉無しの場合と比較して、ブラインドをおろしておくこと視線を完全に遮ることができ、耐久性もあるので、ドアとしての機能を果たすことができる。さらに、従来の扉の交換よりもパッケージとしての汎用性が高く、より安価で実現できると考えられる。





### 最優秀賞

#### <優秀賞>

毛塚順次さん(48歳)

「段差解消蛇腹スロープ」



**段差解消蛇腹スロープ**

■提案の特徴

- 1) 樹脂製の蛇腹構造で軽量
- 2) 未利用時に靴箱収納可能
- 3) 玄関スペースに狭くすることなし
- 4) 下足段差と玄関扉高方に使用可能
- 5) 出入口幅にスロープ幅を対応可能

優秀賞(1)

中村鴻成さん(20歳)

「easy grab」

easy grab

テーマ：扉の交換  
題 名：ドアノブの交換とその他部品の設置

連続して設置された手すりやドアノブからなるプロダクト。  
高齢化が進み、高齢者が障害と感じる事柄が多様化している現在、  
新しい視点でつくられたプロダクトが必要になってくるだろう。  
これは握りやすいドアノブ自体をつくるという目的のデザインではなく、  
ドアノブを握るまでを楽にするという目的から生まれたデザインである。  
ドアノブまで届く手すりを設置することで実現している。  
普段移動で手すりを利用している人にとって、手すりが増えることに加えて  
手すりから別の動作をシームレスに行えることは安全安心な生活に繋がるだろう。



## 優秀賞(2)

&lt;佳作&gt;

石川詞央里さん(20歳)

「森の木格子」



## コンセプト

在宅介護において入浴はととても大変です。特に、初期の段階では、「自分の事を自分で出来る」と自信を持つことが、自宅で楽しい時間を過ごすためには必要です。そこで、高齢者が自分で入浴するための手すりを提案します。

介護のためのリフォームで風呂場に手すりを設置するのは必須事項です。しかし、在宅介護である以上、そのリフォームは家族の役に立たないと介護が視覚的にも苦痛を与えてしまいます。

このデザイン案では、高齢者だけでなく、家族みんなにとって快適な入浴空間を提供します。

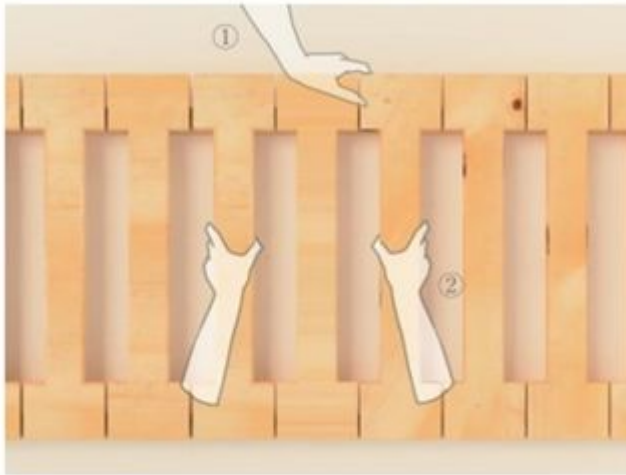
## 入浴までのステップ



佳作 1-(1)



## 柵 家族みんなが嬉しい木格子



手すりとしての持ち方は2通り

①歩行する時

床に対して水平な部分を掴み、手すりとして伝いながら歩きます。

②浴槽への出入り

床に対して垂直な部分を掴み、浴槽への出入りをサポートします。

格子状の手すりが風呂場を一周しているので、浴槽のどこにでも手すりが有ります。

また、転倒してしまった際にも木で優しく受け止めてくれます。

### 環境に優しいリラクゼーション

#### 期待される効果

間伐材を利用しコストを抑えながら、木の香りと見た目で癒されるバスタイムを楽しめます。

木材を使用しているため、風呂場の保温性が高まります。

また、おそろいの木材で作られた蓋を腰掛に「足湯」が楽しめます。

木の面に寄りかかるため、一般的な風呂場の壁に比べて、座り心地が良く背中が冷たくなり、痛くなりづらいです。



### アイデア次第で使い方色々

格子の上に物干し竿やロープを掛ければ、洗濯物をお風呂で干すことができます。

立ち座りをあまりしない場所では、格子にフックを取り付けることで、壁にシャンプーなどを設置することができます。

連続性がある格子は、見た目が美しいだけでなく、様々な用途をサポートしてくれます。

佳作 1-(2)

山田寛さん(36歳)

「ほそいほそい柱のような手すり」





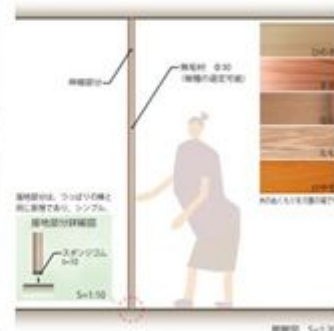
### ほそいほそい柱のような手すり

#### Background

介護の現場では、ついつい介護する側の目線に立ってしまいがちである。介護される側のお互いが歩み寄れる在宅介護のありかたとはなんだろうか。家で共に暮らし、心地よい暮らしがその先に想像見えるような介護の製品をデザインする。そこで、今回は、介護用品の中でもスタンダードな「手すり」に着目してデザインする。手すりから心地よい暮らしが今はじまる。

#### Concept

介護の手すりは、あと施工が多いため、その場しのぎのデザインが非常に多い。また、どこでも手すりをつけてしまうので、見た目も美しくない。そこで、仮設性と美しさの両方を兼ね備えた手すりを提案する。この手すりは、つっぱり棒の原理と同じである。ただし、材料は無垢の木材でできている。つっぱり棒のように床と天井に棒をつぶることで、細い柱のような手すりができあがる。細い柱のような手すりの位置は、お互いコミュニケーションを取りながら位置を決めていく。また、無垢材のあたりかさは、介護用品で主流のプラスチック製品にはない温もりがある。細い柱のような手すりは、目立つことなくそっとそこに存在していて、美しい。この手すりは、介護する側、介護される側の両方の立場を思いやり、心地よい暮らしの一手を担うだろう。



## 佳作 2

石原未悠さん(20歳)

「楽しむ壁」





## 楽しむ壁

無機質な単調な壁、何も飾られていない壁は殺風景で面白味がなく、高齢者の生活を単調にしてしまう。そこで自分で色や形を選択してカスタマイズできる壁を提案する。ボルダリングのホールドは様々な形がありデザイン性もあり、握りやすいので立ち上がる時の支えとしてもよいと考えた。

### ★健康で生き生きと暮らす

握む、握る、引く、支える、いろいろなグリップをつけることで介護者の支えになる壁になる。時の経過により変化していく体調の中で、自由に力点を取り替えて使うことができる。トイレだけでなくベッドの周辺、洗面所などでもいろいろな場所で使える共に肉体の老化を防ぐ。

### ★自分らしく選択できる

色んな色と形、使わない穴には好きな形を取り付けて楽しい壁へ。色んなグリップのデザイン考えてつけ変えて、自分好みのデザイン、握りやすい形の選択ができることで高齢者が自分らしく選択して生きることができる。

### 佳作 3

#### 【第2回デザインアワードの概要】

テーマ : 『安心・安全な住み良い家づくりにつながる  
ユニバーサルデザイン』

内容 : 介護保険の対象となる「手すりの取付」「段差解消」  
「床材変更」「扉の交換」「洋式便器への交換」の5種類に  
テーマを絞り高齢者、家族、介護者のみんなが





ほっと笑顔になれるデザインアイデアを募集。

審査基準 : ・テーマに沿ったデザイン提案であること  
・新規性、オリジナリティがあること  
・私たちの生活をより豊かにし、喜びあふれるものにする  
・アイデアレベルから実施設計レベルまで幅広く叡智を求めます

審査員 : ・丸谷博男(建築家、エコハウス研究会代表理事、  
一般社団法人ARTISAN日本代表理事)  
・若原一貴(建築家、日本大学芸術学部デザイン学科准教授)  
・加島守(高齢者生活福祉研究所 理学療法士 所長)  
・遠藤哉(株式会社ユニバーサルスペース代表取締役)

応募資格 : 一般・社会人、学生、高校生、デザイナーなど  
一切資格を問いません。

賞/賞品 : 最優秀賞 1点 10万円  
優秀賞 2点 5万円  
佳作 3点 1万円

提出物 : プレゼンテーションシートA3片面2枚以内  
下記内容を自由に表現  
作品タイトル・コンセプト文  
作品イメージ(写真・イラスト・CG・図面など)

スケジュール : 受付 10月1日~11月18日(水)  
作品応募 10月1日~11月18日(水)  
審査日 11月26日(木)  
結果発表 11月27日(金)  
授賞式 12月3日(木)Zoomにて開催

応募方法 : WEBサイト(本アワード用の特別サイトからエントリー)  
<https://universalspace.jp/competition/>  
(<https://universalspace.jp/competition/>)

主催 : 株式会社ユニバーサルスペース

協賛 : 株式会社小泉神奈川

問い合わせ : [info@universalspace.jp](mailto:info@universalspace.jp) (<mailto:info@universalspace.jp>)

#### 【店舗概要】

店名 : 介護リフォーム本舗

設立 : 2013年



店舗数 : 全国に93店舗(直営店は4店舗)

(北海道1店舗、宮城県1店舗、東京都22店舗、  
神奈川県12店舗、埼玉県11店舗、群馬県2店舗、  
茨城県1店舗、栃木県2店舗、千葉県9店舗、  
愛知県4店舗、三重県1店舗、岐阜県1店舗、静岡県4店舗、  
大阪府8店舗、兵庫県2店舗、福井県1店舗、富山県1店舗、  
石川県2店舗、岡山県1店舗、広島県3店舗、福岡県2店舗、  
熊本県1店舗、鹿児島県1店舗)

URL : <https://kaigor.com/> (<https://kaigor.com/>)

工事実績 : 55,000件

2013年度 3,700件 / 2014年度 4,000件 / 2015年度 4,200件  
2016年度 5,000件 / 2017年度 7,100件 / 2018年度 8,500件  
2019年度 10,500件

売上高 : 2013年12月 3億6,500万円 / 2014年12月 3億8,300万円  
2015年12月 4億1,700万円 / 2016年12月 4億6,100万円  
2017年12月 6億2,600万円 / 2018年12月 7億8,200万円  
2019年12月 10億900万円

特徴 : ・業務を効率的に回し、単価が低くても収益につなげる  
ビジネスモデルを構築しフランチャイズ化。  
発明の名称「介護リフォーム支援システム」特許第 6222945号  
・介護事業者や施工を実施するリフォーム業者との連携を  
ネットワーク上でシステム化。  
見積作成、介護保険の申請書類の作成、顧客情報、工事内容、  
部材の手配などの事務作業を一括で管理できる  
クラウドシステムを構築。  
・画像認識AI(人工知能)を活用し、介護リフォーム工事の  
見積作成を自動化するアプリを開発。  
発明の名称「リフォーム業務支援システム  
リフォーム業務支援サーバー」特許第 6391206号

#### 【会社概要】

社名 : 株式会社ユニバーサルスペース

代表 : 遠藤 哉

本社 : 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3002



ホームページ : <https://universalspace.jp/> (<https://universalspace.jp/>)

TEL : 045-392-6015

設立 : 2009年1月

資本金 : 2,000万円

従業員数 : 28名

事業内容 : フランチャイズ事業/介護リフォーム/リフォーム/  
設計監理・施工管理業務/宅地建物取引業/保険代理業



@Press (<http://good-luck-news.com/?author=2>)

(<http://good-luck-news.com/?author=2>)

## SEARCH

---

検索 ...

検索

